

資料 (1995.10.1.作成、1999.12.21.改訂増補)

## 戦後教育哲学・思想著作年表

制作 矢野智司

### 【年表制作の考え方】

戦後教育とその実践を支えた教育学がどのようなものであったのかの検証が、さまざまなかたちでなされはじめている。この「戦後教育哲学・思想著作年表」は、1995年の第38回教育哲学会大会シンポジウムにおいて、戦後の教育哲学の評価をテーマにした「教育哲学の未来」という私の発表の資料として配布したものである。現在でも、類似の資料が見あたらないため、本誌の一角に載せていただくことにした。

著作選択の基準を簡単に述べておこう。『教育哲学研究』『教育学研究』の書評欄・図書紹介で取り上げられた著作、また、代表的な教育哲学・教育学・教育思想史の教科書・アンソロジー、そこで参考にされている著作、教育学研究者の個人著作集、日本の教育思想史をテーマとした著作、日本の教育哲学研究に影響を与えた翻訳、そのほか教育哲学研究に意味をもつと思われる周辺領域の著作、以上これらの著作から選択した。

もとより、個人の能力には限界があり、また少なからず私自身の個人的関心が選択に働き、完璧なものとはほど遠いのは承知している。思わぬ誤解もあるかもしれないし、重要な著作を落としてしまっているかもしれない。しかし、このリストを完成したものとみなすことをやめれば、新しい可能性が見えてくるだろう。このリストを、自分が必要な著作を付け加え、不必要な著作を削除して、自分自身の研究用にカスタマイズできる基礎的な資料と考えてもらえればよい。自分用の年表を作られることをお勧めする。必要な方は、連絡をいただければ、テキスト・ファイルにしたフロッピーをお送りする。

1995年の夏休みは、この年表を作成するために図書館で検索作業しているうちに終わってしまった。この無謀な試みにおいて、辻本雅史氏（京都大学）と井上専氏（大阪学院大学）にお世話になった。感謝したい。

■ 1945

■ 1946

小原國芳『教育立国論』玉川大学出版部  
城戸幡太郎『生活技術と教育文化』万里閣 (1938年刊の再版)  
木村素衛『国家に於ける文化と教育』岩波書店  
『アメリカ教育使節団報告書』(1979年、村井実訳、講談社)

■ 1947

鯨坂二夫『デューイの教育学』玉川大学出版部 (1961年増補版)  
梅根悟『新教育への道』誠文堂新光社  
長田新『教育精神の本質』玉川大学出版部  
城戸幡太郎『民主教育のあり方』社会社  
城戸幡太郎『精神科学的人間像』前田出版  
木村素衛『教育学の根本問題』黎明書房 (1949年増補再版、1976年信濃教育会出版部)  
『教育基本法』  
小西重直『民主教育の本質』金港堂  
篠原助市『独逸教育思想史』上下、創元社  
篠原助市『民主主義と教育の精神』宝文館  
清水幾太郎『今日の教育』岩波書店  
田尾一一『デューウイの教育思想』福村書店 (1955年改訂版)  
宮坂哲文『禅における人間形成 — 教育史的研究』霞ヶ関書房 (1970年評論社)  
吉田熊次『現代の教育学』日本経国社

■ 1948

石山脩平『民主教育論』河出書房  
稻富栄次郎『軌近の教育哲学』明治図書  
梅根悟『新教育の諸問題』河出書房  
梅根悟『生活学校の理論 — 新しき生活教育の建設のために』国立書院  
小原國芳『自由教育論』玉川大学出版部  
城戸幡太郎『教育科学的論究』世界社  
木村素衛『教育と人間』弘文堂  
小林澄兄『新教育学入門』明治図書  
櫻井庄太郎『日本児童生活史』日光書院  
篠原助市『新教育学概論』富士書店  
荘司雅子『フレーベルの教育学』大八洲出版  
滑川道夫『生活教育の建設』牧書店  
福島政雄『教育原論』福村書店  
福島政雄『新教育と宗教』玉川大学出版部  
正木正『教育の心理 — 人間形成の現実と方法』羽田書店  
宗像誠也『教育の再建』河出書房  
森昭『教育理想の哲学的探求』黎明書房  
森昭『教育哲学序論 — 教育哲学の限界状況』蕉葉書房  
森徳治『デューイの哲学と教育』杜文社

W・H・キルパトリック、西本三十二訳『新教育の創造——デモクラシーへの反省』牧書店

■ 1949

梅根悟『コア・カリキュラムの本質』誠文堂新光社  
 長田新『フレーベルに還れ』大八洲書店（1955・1981年フレーベル館）  
 小沢恒一『新教育の哲学的基礎』学芸図書  
 乙竹岩造『教育学』培風館  
 海後宗臣『教育の社会基底』河出書房  
 唐澤富太郎『ナトルプの社会的教育学』黎明書房  
 篠原助市『改訂理論的教育学』協同出版（1929年教育研究会刊の改訂版）  
 宮原誠一『教育と社会』金子書房  
 森昭『現代教育の動向と進路——「社会建設の人間教育」のために』黎明書房  
 森昭『新教育の哲学的基礎』福村書店  
 吉田熊次『教育改革と教育思想』明治図書  
 W・H・キルパトリック、西本三十二訳『文化の変革と新教育』牧書店  
 A・S・ニール、霜田静志訳『問題の子供』講談社

■ 1950

石山脩平『新教育講話』富士書店  
 石山脩平『教育学ノート』河出書房  
 石山脩平『教育原理』誠文堂新光社  
 石山脩平『教育の本質』金子書房  
 稲富栄次郎『改版 教育作用の本質』福村書店（1935年目黒書店刊の改訂版）  
 長田新編『新教育の批判と建設』大洋図書  
 海後宗臣『教育原理』朝倉書店（1962年改訂新版）  
 玖村敏雄『新教育の動向』愛知書院  
 小林澄兄『教育学序説』福村書店  
 小林虎五郎『新教育運動の発展』誠文堂新光社  
 下程勇吉『生活教育の根本問題』黎明書房  
 篠原助市『訓練原論』宝文館  
 篠原助市『欧洲教育思想史』上下、創元社（『独逸教育思想史』の改訂版、1956年相模書房、1972年玉川大学出版部）  
 永野芳夫『デューイの経験哲学と教育学』春秋社  
 永野芳夫『デューイ教育思想の基本原理』春秋社  
 正木正『教育の底にあるもの——教育的人間の研究』同学社  
 村井実『教育学』慶応通信（1956年増補版）  
 森昭『今日の教育原理』黎明書房  
 森昭ほか『新教育の反省——教育現実の検討と克服』黎明書房  
 矢川徳光『新教育への批判——反コア・カリキュラム論』刀江書院  
 J・デューイ、宮原誠一訳『学校と社会』春秋社（1957年岩波書店）  
 J・デューイ、帆足理一郎訳『民主主義と教育』春秋社  
 J・デューイ、原田実訳『経験と教育』春秋社

■ 1951

- 長田新『ペスタロッチー伝』上下、1952年完、岩波書店  
長田新編『原爆の子——広島の子供たちのうたったえ』岩波書店 (1990年岩波書店)  
海後宗臣『新教育の進路』明治図書  
勝田守一『平和と教育』刀江書院  
国分一太郎『新しい綴方教室』日本評論社  
篠原助市『教育哲学』富士書店  
竹田加寿雄『生活教育の原理と実際——その近代教育思想発展との関連における把握と反省的前進』彙文堂  
無着成恭編『山びこ学校』青銅社 (1956年百合出版、1995年岩波書店)  
森昭『ジョン・デューイ』金子書房  
森昭『教育とは何か——民族の危機に立ちて』黎明書房  
吉川哲太郎『デューイに拠る教育学』同志社大学出版部  
J・デューイ、東宮隆訳『人間性と行為』春秋社

■ 1952

- 天野貞祐『教育論』河出書房  
安藤五郎『近代教育の原理』不味堂  
池田進『教育原理——一つの批判的立場』ミネルヴァ書房  
石山脩平『現代教育論』朝倉書房  
石山脩平編『教育学と教育史学』東洋館  
稲富栄次郎『ルソオの教育思想』福村書店  
稲富栄次郎『教育目的論』学術刊行会 (1954年改訂、福村書店)  
稲富栄次郎・小林澄兄・赤井米吉『日本教育の再出発』学芸図書  
岩波講座『教育』全8巻、岩波書店  
小川太郎『日本の子ども』金子書房 (1960年増補版、新評論)  
海後勝雄『生活教育の新段階』七星閣  
勝田守一『学校論』要書房  
小林澄兄『教育学概論』福村書店  
巡政民『教育と経験——デューイ教育原理の形成と展開』理想社  
森昭『経験主義の教育原理』金子書房  
H・リード、周郷博訳『平和のための教育』岩波書店

■ 1953

- 東日出男『教育哲学』理想社  
石山脩平・長田新『日本の運命と教育』牧書店  
稲富栄次郎『教育原理』金子書房 (1958年改訂福村書店)  
小原國芳『小原國芳全集』全42巻、玉川大学出版部  
篠原助市『教授原論——学習補導の原理と方法』玉川大学出版部 (1942年の改訂版)  
前田博『教育のめざすもの』明治図書  
正木正『教育的人間』同学社  
荘司雅子『フレール研究』講談社  
鶴見和子編『デューイ研究』春秋社  
矢川徳光『日本教育の危機——その本質と克服の方途』新評論社

R・J・ハヴィガースト、荘司雅子訳『人間の発達課題と教育』玉川大学出版部（1995年再版）

■ 1954

石川謙『わが国における児童観の発達』一古堂書店  
 稲富栄次郎『教育の本質』福村出版（1971年再版）  
 長田新編『教育哲学の課題』東洋館  
 唐澤富太郎『中世初期仏教教育思想の研究——とくに一乗思想とその伝統において』東洋館  
 杉谷雅文『現代哲学と教育学』柳原書店  
 前田博『現代学校教育論』明治図書  
 Th・リット、石原鉄雄訳『科学・教養・世界観』関書院  
 B・ラッセル、堀秀彦訳『教育論』角川書店

■ 1955

稲富栄次郎『教育目的論』福村書店  
 稲富栄次郎『道徳教育論』福村書店  
 海後勝雄『教育科学入門』東洋館  
 木下一雄『教育哲学』明治図書  
 杉谷雅文『現代日本教育の根本問題』光風出版  
 森昭『教育の実践性と内面性——道徳教育の反省』黎明書房  
 矢川徳光『現代のソヴェト教育学』新評論社

■ 1956

稲富栄次郎『明治初期 教育思想の研究』福村書店（1944年創元社刊の改訂版）  
 梅根悟『コメニウス』牧書店  
 杉谷雅文『リット』牧書店  
 松浦鶴造『デューイ 道徳教育の哲学と原理』法政大学出版局  
 宮原誠一『教育学ノート』河出書房  
 松本滋・矢川徳光編『レーニン教育論』青木書店  
 矢川徳光編『マルクス＝エンゲルス教育論』青木書店  
 ヴェ・エス・シェフキン、矢川徳光訳『デューイ教育学の批判』明治図書  
 E・シュブランガー、村井実・長井和雄訳『文化と教育』玉川大学出版部  
 E・シュブランガー、村田昇・杉谷雅文訳『教育学的展望——現代教育の諸問題』関書院

■ 1957

稲富栄次郎『現代教育の哲学』小学館  
 長田新『教育学』岩波書店  
 矢川徳光『国民教育学——その課題と領域』明治図書

■ 1958

東日出男『教育哲学の根本問題』理想社  
 上田薫『知られざる教育——抽象への抵抗』黎明書房  
 長田新『道徳教育の根本問題』牧書店  
 勝田守一編著『教育学』青木書店  
 城戸幡太郎『心理学と教育』国土社

船山謙次『戦後日本教育論争史』東洋館  
前田博『教育本質論』朝倉書店  
正木正『教育的真実の探求』黎明書房

■ 1959

五十嵐顕『民主教育論』青木書店  
稲富栄次郎『現代の教育哲学』福村書店  
長田新『教育哲学——教育学はどこへゆく』岩波書店  
【教育哲学会『教育哲学研究』創刊号】  
下程勇吉『教育の場としての人間』全人社  
土井嗣夫ほか著『デューイ教育理論の諸問題』刀江書院  
松本昭『「我—汝」の教育学』理想社  
R・アルト、石井正司訳『コメニウスの教育学』明治図書  
E・シュプランガー、村井実・長井和雄訳『現代の文化問題』牧書店  
E・シュプランガー、浜田正秀訳『教育者の道——生まれながらの教育者』玉川大学出版部  
長田新編集校閲『ペスタロッチー全集』全13巻、1960年完、平凡社

■ 1960

岩波講座『現代教育学』全18巻、岩波書店  
現代教育学、第1巻『現代の教育哲学』岩波書店  
現代教育学、第2巻『教育学概論』岩波書店  
上田薫『道徳教育の理論』明治図書  
海後勝雄『教育哲学入門』東洋館  
勝田守一編『教育学論集』河出書房  
長洲一二『国民教育論序説』新評論  
船山謙次『続 戦後日本教育論争史』東洋館  
正木正『道徳教育の研究』金子書房  
松田義哲『教育哲学』協同出版 (1967年増補版)  
Th・リット、柴谷久雄・杉谷雅文訳『生けるペスタロッチー』理想社

■ 1961

芝田進午『人間性と人格の理論』青木書店  
芝野庄太郎『ロバート・オーエンの教育思想』御茶の水書房  
松田義哲『道徳教育の研究』明玄書房  
森昭『教育人間学——人間生成としての教育』黎明書房  
I・F・スバトコーフスキー、E・N・メディンスキー、倉内史郎・鈴木秀一共訳『マルクス主義教育学の方法論』明治図書  
E・シュプランガー、伊勢田耀子訳『文化と性格の諸類型』I II、明治図書

■ 1962

稲富栄次郎監修『教育人名辞典』理想社  
川合章編『現代日本の教育思想 戦前編』黎明書房  
田花為雄『ガウディヒ派教育学』新思潮社  
細谷恒夫『教育の哲学——人間形成の基礎理論』創文社

松浦鶴造『デューイ進歩的学校の原理』法政大学出版局  
 矢川徳光『国民教育学の探究』明治図書  
 柳久雄『生活と労働の教育思想史』御茶の水書房

### ■ 1963

梅根悟『国民教育の改革——子どものための教育をめざして』誠文堂新光社  
 小川太郎『教育と陶冶の理論』明治図書  
 川合章編『現代日本の教育思想 戦後編』黎明書房  
 城戸幡太郎『教育原理論』国土社  
 柴谷久雄『ラッセルにおける平和と教育』御茶の水書房  
 杉谷雅文『教育原理——改訂増補』柳原書店  
 藤謙敬『インド教育思想史研究』講談社  
 J・S・ブルーナー、鈴木祥蔵・佐藤三郎訳『教育の過程』岩波書店

### ■ 1964

上田薫『教育哲学』誠文堂新光社  
 上田薫『人間形成の論理』黎明書房  
 上田薫編著『教育哲学の新生』黎明書房  
 勝田守一『能力と発達と学習』国土社  
 勝田守一・中内敏夫『日本の学校』岩波書店  
 田浦武雄『教育入門』誠信書房  
 豊澤登『人間の科学と人間の形成』理想社  
 長谷川亀太郎『道徳教育研究法』理想社  
 マカレンコ全集刊行委員会訳『マカレンコ全集』全8巻、1965年完、明治図書

### ■ 1965

鯉坂二夫『教育学』ミネルヴァ書房  
 東日出男『現代教育の基本問題』理想社  
 大浦猛『実験主義教育思想の成立過程——デューイにおける初期教育思想の形成』刀江書院  
 倉橋惣三『倉橋惣三選集』全4巻、1967年完、フレーベル館  
 小泉正美『現代教育の原理——自由教育論』明玄書房  
 国分一太郎『生活綴方の今日と未来』新評論  
 小林政吉『教養と実存と愛』広池学園出版部  
 佐々木秀一『デューイの教育哲学』協同出版  
 長谷川亀太郎『教育心理学——人間形成の心理学』理想社  
 前田博『創造性を育てる教育』明治図書

### ■ 1966

勝田守一『国民教育の課題』国土社  
 勝田守一編著『現代教育学入門』有斐閣  
 上寺久雄『現代教育の課題——デューイ教育学の再評価』教育タイムス社  
 是常正美『ヘルバルト研究』牧書店  
 下程勇吉編著『教育原理』法律文化社  
 中泉哲俊『日本近世教育思想の研究』吉川弘文館

前田博『ゲーテとシラーの教育思想』未来社  
松田義哲『教育哲学序説』近代新書出版社  
宮原誠一『青年期の教育』岩波書店  
森昭『未来からの教育——現代教育の成立と課題』黎明書房  
O・F・ボルノー、峰島旭雄訳『実存哲学と教育学』理想社  
T・プラメルド、松浦茂晴・山中巖訳『来るべき時代の教育』慶応通信  
J・デューイ、杉浦宏訳『教育学の本源』明玄書房  
M・J・ランゲフェルト、和田修二訳『教育の人間学的考察』未来社

■ 1967

稲富栄次郎『新教育原理』福村書店  
井上弘『改造主義の教育学——教育方法の教育哲学的基礎』明治図書  
梅根悟『世界教育史』新評論  
江藤恭二『西洋教育史序説——近代教育思想の形成』福村出版  
小沢有作『民族教育論』明治図書  
『教育学全集』全15巻、小学館  
教育学全集、第1巻『教育学の理論』小学館  
教育学全集、第2巻『教育の思想』小学館  
加藤仁平『小西重直の生涯と思想』黎明書房  
田浦武雄『教育的価値論』福村出版  
田花為雄『教育原論』所書店(1970年改訂)  
西村皓『人間観と教育——教育学の人間学への寄与』世界書院  
日本ユネスコ国内委員会発行『社会教育の新しい方向』  
正木正『教育的叡知』金子書房  
森昭『現代教育学原論』国土社(1973年改訂)

■ 1968

稲富栄次郎『明治以降・教育目的の変遷』同文書院  
宇佐美寛『思考・記号・意味——教育研究における「思考」』誠信書房  
梅根悟『西洋教育思想史』全3巻、1969年完、誠文堂新光社  
勝田守一『教育と認識』国土社  
斎藤喜博『教師の実践とは何か』国土社  
神保博行『教育哲学の基本的考察』芦書房  
杉谷雅文『教育哲学』玉川大学出版部  
皇至道『現代教育学』明治図書  
田浦武雄『教育改造の思想』黎明書房  
中野光『大正自由教育の研究』黎明書房  
西村皓『生の構造理論と教育学』悠久出版  
牧野吉五郎『明治期啓蒙教育の研究』御茶の水書房  
森昭『現代教育学原論』国土社  
O・F・ボルノー、浜田正秀訳『人間学的に見た教育学』玉川大学出版部  
J・Fr・ヘルバルト、是常正美訳『一般教育学』玉川大学出版部  
F・シュライエルマッヘル、長井和雄・西村皓訳『教育学講義』玉川大学出版部

## ■ 1969

- 五十嵐良雄『国際教育論序説』現代評論社  
 板倉聖宣『科学と方法』季節社  
 大田堯『学力とは何か』国土社  
 大西忠治『教師にとって実践とは何か』明治図書  
 海後宗臣・波多野完治・宮原誠一監修『近代日本教育論集』全8巻、1973年完、国土社  
 斎藤喜博『斎藤喜博全集』全15巻、別巻2巻、国土社  
 永井道雄『近代化と教育』東京大学出版会  
 牧野宇一郎『教育勅語の思想』明治図書  
 村田昇『国家と教育——シュプランガー政治教育思想の研究』ミネルヴァ書房  
 持田栄一編『講座マルクス主義6 教育』日本評論社  
 O・F・ボルノー、森田孝訳『言語と教育』川島書店  
 O・F・ボルノー、森昭・岡田渥美訳『教育を支えるもの——教育関係の人間学的考察』黎明書房  
 J・S・ブルーナー、橋爪貞雄訳『直観・創造・学習』黎明書房  
 W・H・キルパトリック、村山貞雄・柘植明子・市村尚久訳『教育哲学』全2巻、明治図書  
 大橋精夫・矢川徳光監訳『クルプスカヤ選集』全8巻、別巻1巻、1976年完、明治図書

## ■ 1970

- 天野貞祐『教育論』栗田出版会  
 勝田守一『教育と教育学』岩波書店  
 高坂正顕『教育哲学』高坂正顕著作集、第6巻、理想社  
 下程勇吉『宗教的自覚と人間形成』広池学園出版部（1983年再版）  
 日高六郎『日高六郎教育論集』一ツ橋書房  
 堀内守『コメニウス研究』福村出版  
 前田博『教育基礎論』明治図書  
 前田博『自由人の育成と一般陶冶』未来社  
 村田栄一『戦後教育論——国民教育批判の思想と主体』田畑書店  
 安川寿之輔『日本近代教育の思想構造』新評論社

## ■ 1971

- 稲富栄次郎『ペスタロッチの生涯と思想——その基礎陶冶理念』福村出版  
 長田新『ペスタロッチー教育学』岩波書店  
 新堀通也『教育愛の構造』福村出版  
 田浦武雄編『実存と教育』福村出版  
 竹田加寿雄『デューイ教育学の根本思想研究』法律文化社  
 長尾十三二『近代ヨーロッパの教育と政治』明治図書  
 堀尾輝久『現代教育の思想と構造』岩波書店  
 矢川徳光『マルクス主義教育学試論』明治図書  
 M・J・ラングフェルト、和田修二訳『理論的教育学』上、未来社  
 Th・リット、石原鉄雄訳『教育の根本問題』明治図書  
 R・S・ピーターズ、三好信浩・塚崎智訳『現代教育の倫理』黎明書房

## ■ 1972

- 鯉坂二夫編『デューイ研究』ミネルヴァ書房

稲垣忠彦編『教育学説の系譜』国土社  
上田薫『個を育てる力』明治図書  
岡本英明『ボルノウの教育人間学——その哲学と方法論』サイマル出版会  
勝田守一『勝田守一著作集』全7巻、1974年完、国土社  
木下亀城・小原國芳『新教育の探究者 木下竹次』玉川大学出版部  
佐藤英一郎『教育改革の系譜と思想』明治図書  
村井実『ソクラテスの思想と教育』玉川大学出版部  
G・ギュスドルフ、小倉志祥・斎藤勝訳『何のための教師』みすず書房  
M・J・ランゲフェルト、和田修二監訳『教育の理論と現実』未来社

■ 1973

上田薫『ずれによる創造——人間のための教育』黎明書房  
宇佐美寛『思考指導の論理——教育方法における言語主義の批判』明治図書  
大田堯『教育の探求』東京大学出版会  
小沢有作『在日朝鮮人教育論』亜紀書房  
勝田守一『人間の科学としての教育学』著作集、第6巻、国土社  
長井和雄『シュプランガー研究』以文社  
中内敏夫『近代日本教育思想史』国土社  
矢内原忠雄『教育と人間』東京大学出版会  
矢川徳光『矢川徳光教育学著作集』全6巻、1974年完、青木書店  
O・F・ボルノー、岡本英明訳『フレーベルの教育学』理想社  
C・E・シルバーマン、山本正訳『教室の危機』上下、サイマル出版会

■ 1974

小笠原道雄『現代ドイツ教育学説史研究序説——ヴィルヘルム・フリットナー教育学の研究』福村出版  
金子光男『ラッセル倫理思想研究』酒井書店  
下程勇吉『教育の宗教的基礎』理想社  
清水秀芳『デューイの人間学的倫理学』学芸図書  
杉谷雅文編『現代のドイツ教育哲学』玉川大学出版部  
藤本浩之輔『子どもの遊び空間』日本放送出版協会  
三井浩『愛の場所——教育哲学序説』玉川大学出版部  
M・J・ランゲフェルト、岡田渥美・和田修二監訳『教育と人間の省察』玉川大学出版部

■ 1975

稲富栄次郎『戦後日本の教育と文化——日本人とは何か』ぎょうせい  
上田薫『教育による創造』全3巻、黎明書房  
片岡徳雄編『集団主義教育の批判』黎明書房  
子安美知子『ミュンヘンの小学生——娘が学んだシュタイナー学校』中央公論社  
斎藤次郎『子どもたちの現在』風媒社  
澤柳政太郎『澤柳政太郎全集』全10巻、別巻1巻、1979年完、国土社  
荘司雅子『フレーベルの生涯と思想』玉川大学出版部  
鈴木祥蔵『人間の成長・発達と解放教育』明治図書  
田浦武雄編『教育の現象学——人間的教育の創造のために』福村出版

高久清吉『教育の英知——ヘルバルトと現代の教育』協同出版  
 竹内敏晴『ことばが劈かれるとき』思想の科学社  
 堀内守『教育思想の歴史』日本放送出版協会  
 堀尾輝久『教育の自由と権利』青木書店  
 村井実『教育の再興』講談社  
 B・ゲルナー、岡本英明訳『教育人間学入門』理想社

#### ■ 1976

鯉坂二夫『教育原論』玉川大学出版部  
 宇佐美寛『ブロンズン・オルコットの教育思想』風間書房  
 梅根悟監修『世界教育史体系』全40巻、講談社  
 大谷光長『ケルシェンシュタイナー教育学序説』法律文化社  
 高山岩男『教育哲学』玉川大学出版部  
 長尾十三二編『国民教育の歴史と論理』第一法規  
 西口穂太郎『及川平治のカリキュラム改造論』黎明書房  
 福島政雄『ペスタロッチの根本思想』福村出版  
 村井実『教育学入門』上下、講談社  
 山住正己・中江和恵編『子育ての書』全3巻、平凡社東洋文庫  
 K・ルーメル『自由教育思想の系譜——プラトンからモンテッソーリまで』南窓社  
 M・J・ランゲフェルト、岡田渥美・和田修二監訳『続 教育と人間の省察』玉川大学出版部  
 H・ロート、平野正久訳『発達教育学』明治図書

#### ■ 1977

稲富栄次郎『稲富栄次郎著作集』全10巻、1980年完、学苑社  
 梅根悟『梅根悟教育著作選集』全8巻、明治図書  
 小川正『自己教育の構築』明治図書  
 唐澤富太郎『教育博物館——伝承と日本人の形成』全4巻、ぎょうせい  
 久木幸男ほか編『日本子どもの歴史』全7巻、第一法規  
 皇至道『皇至道著作集』全5巻、第一法規  
 中野光『大正デモクラシーと教育——1920年代の教育』新評論（1990年改訂増補版）  
 林竹二『教育の再生をもとめて』筑摩書房  
 堀尾輝久・兼子仁『教育と人権』岩波書店  
 宮原誠一『宮原誠一教育論集』全7巻、国土社  
 村山貞雄『江戸時代の子供教育思想の研究』高千穂書房  
 森昭『森昭著作集』全6巻、黎明書房  
 森昭『人間形成原論 遺稿』森昭著作集、第6巻、黎明書房  
 山下恒男『反発達論——抑圧の人間学からの解放』現代書館  
 牧野宇一郎『デューイ教育観の研究』風間書房  
 O・F・ボルノー、岡本英明訳『教育学における人間学的見方』玉川大学出版部  
 M・フーコー、田村俣訳『監獄の誕生——監視と処罰』新潮社  
 小原國芳・荘司雅子監修『フレーベル全集』全5巻、1981年完、玉川大学出版部  
 J・ホルト、原忠男訳『子ども——その権利と責任』玉川大学出版部  
 J・ホルト、山崎真稔訳『学校——その自由と権威』玉川大学出版部  
 I・イリッチ、東洋・小澤周三訳『脱学校の社会』東京創元社

E・シュプランガー、長尾十三二監訳『ドイツ教育史』明治図書

■ 1978

- 天野正治『現代ドイツの教育』学事出版  
稲富栄次郎『近代日本の教育思想』学苑社  
井上義巳『日本教育思想史の研究』勁草書房  
上田薫『上田薫社会科教育著作集』全5巻、明治図書  
上田薫『教育の革新と人間回復』明治図書  
宇佐美寛『教授方法論批判』明治図書  
大田堯編『戦後日本教育史』岩波書店  
海後勝雄『海後勝雄教育著作選集』全5巻、日本図書センター  
古寺雅男『日記——自己形成の試み』法律文化社  
小林政吉『プーバー研究』創文社  
長尾十三二『西洋教育史』東京大学出版会  
堀内守『文明の岐路に立つ教育』黎明書房  
松浦茂晴『教育のユートピア——ペラミーの人と思想』新泉社  
村井実『善さの構造』講談社  
村井実『新・教育学のすすめ』小学館  
村山英雄『オスウィーゴ運動の研究』風間書房  
吉川原『児童観人類学序説』亜紀書房  
O・F・ボルノー、森田孝・大塚恵一訳編『問いへの教育——哲学的人間学の道』川島書店

■ 1979

- 天野正治ほか編『現代教育問題史』明玄書房  
井上久雄編『日本の教育思想』福村出版  
岩波講座『子どもの発達と教育』全8巻、岩波書店  
上田薫『絶対からの自由——一病息災の教育思想』黎明書房  
『教育学講座』全21巻、別巻1巻、学習研究社  
教育学講座、第2巻『人間形成の思想』学習研究社  
是常正美『ヘルバルト教育学の研究』玉川大学出版部  
栗田修『デューイ教育学の起源——彼の生長としての教育観はいかなる過程を経て成立したか』松籟社  
田浦武雄編『教育人類学——文化的志向と教育』福村出版  
高瀬常男『教育的人間学』金子書房  
原ひろ子『子どもの文化人類学』晶文社  
堀内守『構想力の冒険』黎明書房  
堀内守『構想力の時代』福村出版  
堀尾輝久『現代日本の教育思想——学習権の思想と「能力主義」批判の視座』青木書店  
前田博『教育の本質』玉川大学出版部  
向山洋一『斎藤喜博を追って』昌平社  
山本哲士『学校・医療・交通の神話』新評論(1984年新版)  
吉田昇・長尾十三二・柴田義松編『近代教育思想』有斐閣  
G・S・カウンツ、田浦武雄訳『ソヴィエト教育の挑戦』誠信書房  
J・デルボラフ、小笠原道雄監訳『現代教育科学の論争点——教育学の体系的展望』玉川大学出

## 版部

- P・フレイレ、小沢有作ほか訳『被抑圧者の教育学』亜紀書房  
 F・キュンメル、吉村文男訳『時間的人間学的構造』理想社  
 『ルソー全集』全14巻、別巻2巻、1985年完、白水社

## ■1980

- 東日出男『ドイツ経済教育思潮——経済教育比較研究の一齣』タイムス社  
 海後宗臣『海後宗臣著作集』全10巻、東京書籍  
 黒沢惟昭『疎外と教育』新評論  
 斎藤勉『デューイの教育的価値論』福村出版  
 杉谷雅文編『現代教育の根本問題』学苑社  
 周郷博『周郷博著作集』全6巻、1981年完、柏樹社  
 東岸克好『ベスタロッチの直観教育思想の研究』建帛社  
 久木幸男ほか編『日本教育論争史録』全4巻、第一法規  
 本田和子『子どもたちのいる宇宙』三省堂  
 P・アリエス、杉山光信・杉山恵美子訳『〈子供〉の誕生——アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房  
 W・ブレツィンカ、小笠原道雄ほか訳『教育科学の基礎概念』黎明書房  
 J・デルボラフ、石原鉄雄・山田邦男訳『教育と政治』広池学園出版部  
 E・ケーニツヒ、江島正子・K・ルーメル『教育科学の理論』学苑社  
 M・J・ランゲフェルト、和田修二監訳『よるべなき両親——教育と人間の尊厳を求めて』玉川大学出版部  
 P・H・フェニックス、佐野安仁ほか訳『意味の領域——一般教育の考察』晃洋書房  
 K・ヴィドマー、蜂屋慶ほか訳『スポーツ教育学』東洋館

## ■1981

- 上野浩道『芸術教育運動の研究』風間書房  
 木原孝博『道徳教育の基礎理論』明治図書  
 杉浦宏編『アメリカ教育哲学の展望』清水弘文堂  
 皇紀夫・松井春満・和田修二『人間と教育』ミネルヴァ書房  
 杉浦美朗『デューイにおける活動的な諸仕事の研究』風間書房  
 西村皓『生の教育学研究』世界書院  
 春山浩司『近代教育の発見——ロックとルソーの市民教育論』有斐閣  
 船山謙次『戦後道徳教育論史』上下、青木書店  
 堀内守『黒板の思想』黎明書房  
 山下栄一・加藤誠一編『教育状況の現象学』金子書房  
 渡部晶『ホーレス・マン教育思想の研究』学芸図書  
 E・E・ガイスラー、天野正治監訳『現代教育の危機』ぎょうせい  
 I・シュフラー、村井実監訳『教育のことば——その哲学的分析』東洋館出版社  
 M・F・クインティリアヌス、小林博英訳『弁論家の教育』全2巻、明治図書

## ■1982

- 倉岡正雄『フレーベル教育学概説』建帛社  
 『現代に生きる教育思想』全8巻、ぎょうせい

高山岩男『教育愛と教師の権威』玉川大学出版部  
斎藤武雄『ヤスパースの教育哲学』創文社  
三枝孝弘・田畑治編『現代の児童観と教育』福村出版  
佐藤敏夫ほか編『キリスト教と教育の接点』日本YMCA 同盟出版部  
下程勇吉編『教育人間学研究』法律文化社  
鈴木瑠雄『コメニウス「大教授学」入門』上下、明治図書  
谷口忠顕『デューイの人間論』九州大学出版会  
長井和雄・小林政吉・市村尚久『人間形成の近代思想』第一法規  
橋本三太郎『ルソーの教育思想研究』明治図書  
本田和子『異文化としての子ども』紀伊國屋書店  
源了圓『文化と人間形成』第一法規  
和田修二『子どもの人間学』第一法規  
O・F・ボルノー、玉川大学教育学科編訳『教育者の徳について』玉川大学出版部  
M・ドベス、堀尾輝久・斎藤佐和訳『教育の段階』岩波書店

■ 1983

阿部重孝『阿部重孝著作集』全8巻、日本図書センター  
井上弘『教育哲学の類型と教育方法』教育開発研究所  
加藤清『新しい教育哲学——存在からのアプローチ』勁草書房  
草谷晴夫『民主主義の倫理と教育』清水弘文堂  
斎藤秋男『陶行知生活教育理論の形成』明治図書  
「産育と教育の社会史」編集委員会編『叢書産育と教育の社会史』全5巻、1985年完、新評論  
「産育と教育の社会史」編集委員会編『学校のない社会 学校のある社会』新評論  
杉浦宏『デューイの自然主義と教育思想』明治図書  
高田熱美『ラッセル教育思想研究』創言社  
蜂屋慶『生活指導における集団指導の基礎理論』明治図書  
本田和子『子どもの領野から』人文書院  
前田博『教育における芸術の役割』玉川大学出版部  
村瀬学『理解のおくれの本質』大和書房  
村田昇編『教育哲学』有信堂  
P・アリエス、中内敏夫・森田伸子編訳『〈教育〉の誕生』新評論  
A・ミラー、山下公子訳『魂の殺人』新曜社  
E・シュブランガー、小笠原道雄・鳥光美緒子訳『フレーベルの思想界より』玉川大学出版部

■ 1984

大井令雄『日本の「新教育」思想——野口援太郎を中心に』勁草書房  
小笠原道雄編『ドイツにおける教育学の発展』学文社  
甲斐進一『ブラメルド教育哲学の研究』名古屋大学出版会  
唐澤富太郎編『図説教育人物事典』全3巻、ぎょうせい  
小林博英『教育の人間学的研究』九州大学出版会  
斎藤正二・長尾十三二編『世界子どもの歴史』全11巻、第一法規  
鹿毛誠一『教育と理解——近代の諸教育観』晃洋書房  
上智大学中世思想研究所編集『教育思想史』全6巻、東洋館  
鈴木瑠雄『「教育」と「自然」——ジャン・ジャック・ルソー『エミール』の一研究』明治図書

田浦武雄『デューイとその時代』玉川大学出版部  
 高久清吉『ヘルバルトとその時代』玉川大学出版部  
 対馬達雄『ディースターヴェーク研究』創文社  
 中田基昭『重症心身障害児の教育方法』東京大学出版会  
 西村皓・小笠原道雄・春山浩司編『教育の根底にあるもの』以文社  
 堀内守『コメニウスとその時代』玉川大学出版部  
 堀尾輝久『子どもを見なおす——子ども観の歴史と現在』岩波書店  
 J・デルボラフ、村井実監訳『現代ドイツの教育学と教育政策』広池学園出版部  
 W・クラフキー、小笠原道雄監訳『批判的・構成的教育科学』黎明書房

### ■ 1985

石附実『西洋教育の発見——幕末明治の異文化体験から』福村出版  
 稲葉宏雄『実験的知性の教育——デューイ教育思想研究序説』日本標準  
 小笠原道雄編『教育学における理論=実践問題』学文社  
 小川利夫・柿沼肇編『戦後日本の教育理論——現代教育科学研究入門』上下、ミネルヴァ書房  
 小浜逸郎『学校の現象学のために』大和書房  
 金子晴勇『ルターとその時代』玉川大学出版部  
 木下涼一『デューイ教育学への接近』明治図書  
 吉良僕『大正自由教育とドルトン・プラン』福村出版  
 庄司他人男『ヘルバルト主義教授理論の展開——現代教授理論の基盤形成過程』風間書房  
 関啓子『全面発達と人間の解放——クループスカヤ初期教育思想の研究』明治図書  
 中内敏夫『生活教育論争史の研究』日本標準  
 蜂屋慶編『教育と超越』玉川大学出版部  
 藤武『アメリカ幼児教育思想の研究——デューイ思想を基軸として』第一法規  
 山本哲士『学校の幻想 幻想の学校——教育のない世界』新曜社  
 E・P・カバリー、川崎源訳『カバリー教育史』大和書房  
 F・キュンメル、松田高志訳『現代解釈学入門——理解と前理解・文化人間学』玉川大学出版部  
 A・ミラー、山下公子訳『禁じられた知』新曜社  
 R・シュタイナー、高橋巖訳『教育の基礎としての一般人間学』創林社

### ■ 1986

上田薫『教育をゆがめるものはなにか』国土社  
 菅野盾樹『いじめ=〈学級〉の人間学』新曜社  
 長井和雄ほか編『ロマン主義教育再興』東洋館  
 沼田裕之『ルソーの人間観——『エミール』での人間と市民の対話』風間書房  
 林信弘『教育の哲学的探求——アイデンティティを求めて』法律文化社（1992年新版）  
 堀内守編『教育哲学の諸問題』名古屋大学出版会  
 増淵幸男『教育学の論理』以文社  
 村井実『ペスタロッチーとその時代』玉川大学出版部  
 森田伸子『子どもの時代——『エミール』のパラドックス』新曜社  
 森田尚人『デューイ教育思想の形成』新曜社

### ■ 1987

市村尚久『アメリカ六・三制の成立過程——教育思想の側面からの考察』早稲田大学出版部

- 上田薫『人間 その光と影 — やわらかさを育てる』黎明書房  
 宇佐美寛『教育において「思考」とは何か — 思考指導の哲学的分析』晃洋書房  
 押村襄『教育観の転換 — ルソーの視点から』早稲田大学出版部  
 押村襄・押村高・中村三郎・林幹夫『ルソーとその時代』玉川大学出版部  
 笹本正樹『斎藤喜博の教育美学』杉山書店  
 竹田正直編著『教育改革と子どもの全面発達』ナウカ  
 竹中暉雄『ヘルバルト主義教育学 — その政治的役割』勁草書房  
 津守真『子どもの世界をどうみるか — 行為とその意味』日本放送出版協会  
 中内敏夫『新しい教育史』新評論  
 堀尾輝久『天皇制国家と教育 — 近代日本教育思想史研究』青木書店  
 前之園幸一郎『「ピノッキオ」の人間学』青山学院女子短期大学学芸講話会  
 吉田章宏『学ぶと教える — 授業の現象学への道』海鳴社  
 K・ルーメル『英知と自由の人間育成 — 続 自由教育思想の系譜』南窓社  
 W・ディルタイ、日本ディルタイ協会訳『教育学論集』以文社  
 J・デルボラフ、小笠原道雄・今井重孝訳『教育学思考のパラダイム転換』玉川大学出版部  
 J・R・マーティン、村井実監訳『女性にとって教育とはなんであったか — 教育思想家たちの会話』東洋館  
 K・モレンハウアー、今井康雄訳『忘れられた連関 — 〈教える—学ぶ〉とは何か』みすず書房  
 H・レールス、長谷川守男監訳『遊戯とスポーツ』玉川大学出版部  
 I・シェフラー、村井実監訳『教育から見た知識の条件』東洋館

■ 1988

- 板倉聖宣『たのしい授業の思想』仮説社  
 岩本憲『教育本質論の探究』ぎょうせい  
 海老原治善『戦後日本教育理論小史』国土社  
 栗原彬・本田和子・前田愛・山本哲士『学校化社会のストレンジャー=子供の王国』新曜社  
 穴戸建夫『日本の幼児保育 — 昭和保育思想史』上下、1989年完、青木書店  
 下程勇吉『吉田松陰の人間学的研究』広池学園出版部  
 庄司和晃『庄司和晃著作集』全5巻、明治図書  
 杉浦宏『教育学原論』理想社  
 高井薫『「教える」ことと「育てる」こと — 教育の基礎論的考察』行路社  
 中内敏夫『教育学第一歩』岩波書店  
 長尾十三二監修『世界新教育運動選書』別巻3巻、明治図書  
 中野光『戦後の子ども史』金子書房 (1994年改訂)  
 松浦伯夫『教育理念の展開 — 日本教育史研究』ぎょうせい  
 宮沢康人編『社会史のなかの子ども』新曜社  
 村井実『村井実著作集』全8巻、小学館  
 山下栄一編『現代教育と発達幻想』明石書店  
 和田修二・山崎高哉編『人間の生涯と教育の課題 — 新自然主義の教育学試論』昭和堂  
 J・A・コメニウス、井ノ口淳三訳『世界図絵』ミネルヴァ書房  
 H・ダンナー、浜口順子訳『教育学的解釈学入門 — 精神科学的教育学の方法』玉川大学出版部  
 W・フリットナー、島田四郎・石川道夫訳『一般教育学』玉川大学出版部  
 Th・リット、荒井武・前田幹訳『現代社会と教育の理念』福村書店

## ■ 1989

- 佐々木正昭『真下飛泉とその時代』日本図書センター  
 田中昭徳『ロホー国民教育思想の研究』風間書房  
 堀尾輝久『教育入門』岩波書店  
 前之園幸一郎『子どもたちの歴史』永田書房  
 増淵幸男『ヤスパースの教育哲学研究』以文社  
 D・E・デントン編、菊地陽次郎ほか訳『教育における実存主義と現象学』晃洋書房  
 M・J・ランゲフェルト、H・ダンナーとの共著、山崎高哉監訳『意味への教育——学的方法論と人間学的基礎』玉川大学出版部  
 『子どもの権利条約』

## ■ 1990

- 上野浩道『知育とは何か——近代日本の教育思想をめぐって』勁草書房  
 宇野美恵子『教育の復権——大正自由主義教育と自己超越の契機』国際書院  
 片桐芳雄『自由民権期教育史研究』東京大学出版会  
 亀山佳明『子どもの嘘と秘密』筑摩書房  
 鈴木晶子『判断力養成論研究序説——ヘルバルトの教育的タクトを軸に』風間書房  
 諏訪義英『日本の幼児教育思想と倉橋惣三』新読書社  
 俵木浩太郎『孔子と教育——「好学」とフィロソフィア』みすず書房  
 辻本雅史『近世教育思想史の研究——日本における「公教育」思想の源流』思文閣出版  
 虎竹正之『ペスタロッチー研究——職業教育と人間教育』玉川大学出版部  
 原聰介ほか『教育と教育観——現代教育の本質と目的を考えるために』文教書院  
 平子恭子『与謝野晶子の教育思想研究』桜楓社  
 山本哲士監修『教育が見えない——子ども・教室・学校の新しい現実』三交社  
 W・プレツィンカ、小笠原道雄監訳『教育学から教育科学へ——教育のメタ理論』玉川大学出版部  
 L・ドゥモース、宮澤康人ほか訳『親子関係の進化——子ども期の心理発生的歴史学』海鳴社  
 F・キュンメル、吉村文男訳『倫理と対話——道徳教育の人間学的探究』晃洋書房  
 T・W・ムーア、村井実監訳『教育哲学入門——哲学的分析の手引き』川島書店  
 H・レールス、長谷川守男訳『一般教育科学』玉川大学出版部

## ■ 1991

- 川森康喜『ボルノウ教育学の研究』ミネルヴァ書房  
 下山田裕彦ほか『遊びの思想——遊び理解と人間形成』川島書店  
 竹田正直『ロシア革命と民主主義教育』共同文化社  
 谷口忠顕『デューイの知識論』九州大学出版会  
 堀尾輝久『人間形成と教育——発達教育学への道』岩波書店  
 O・F・ボルノー、石橋哲成訳『思索と生涯を語る』玉川大学出版部  
 H・ロート、川村覚昭・下山田裕彦訳『ペスタロッチーの人間像』玉川大学出版部

## ■ 1992

- 上田薫『上田薫著作集』全15巻、1994年完、黎明書房  
 沖田行司『日本近代教育の思想史研究——国際化の思想系譜』日本図書センター  
 唐澤富太郎『唐澤富太郎著作集』全10巻、ぎょうせい  
 河合隼雄『子どもと学校』岩波書店

境澤和男『教育の哲学的探究』梓版社  
藤田輝夫編『コメニウスの教育思想』法律文化社  
森田孝ほか編『人間形成の哲学』大阪書籍  
森田尚人ほか編『教育学年報1 教育研究の現在』世織書房  
【近代教育思想史研究会編『近代教育フォーラム』創刊号】  
W・プレツィンカ、岡田渥美・山崎高哉監訳『価値多様化時代の教育』玉川大学出版部  
W・クラフキ、小笠原道雄編訳『教育・人間性・民主主義』玉川大学出版部  
H・レールス、H・ショイアール編、天野正治ほか訳『現代ドイツ教育学の潮流 — W・フリットナー百歳記念論文集』玉川大学出版部  
D・トレラー、乙訓稔訳『ペスタロッチの哲学と教育学』東信堂

■ 1993

赤塚徳郎『スペンサー教育学の研究』東洋館  
今井重孝『中等教育改革研究 — ドイツギムナジウム上級段階改革の事例』風間書房  
岡田敬司『かかわりの教育学 — 教育役割割くずし試論』ミネルヴァ書房  
北本正章『子ども観の社会史 — 近代イギリスの共同体・家族・子ども』新曜社  
齋藤昭『ブーバー教育思想の研究』風間書房  
杉浦宏編『デューイ研究の現在』日本教育研究センター  
富田博之ほか編『大正自由教育の光芒』久山社  
長井和雄『言語力形成の論理』玉川大学出版部  
中田基昭『授業の現象学 — 子どもたちから豊かに学ぶ』東京大学出版会  
西平直『エリクソンの人間学』東京大学出版会  
森川直『ペスタロッチー教育思想の研究』福村出版  
森重雄『モダンのアンスタンス — 教育のアルケオロジー』ハーベスト社  
森田尚人ほか編『教育学年報2 学校=規範と文化』世織書房  
森田伸子『テキストの子ども — ディスクール・レシ・イマージュ』世織書房  
山崎高哉『ケルシェンシュタイナー教育学の特質と意義』玉川大学出版部

■ 1994

市村尚久『エマソンとその時代』玉川大学出版部  
小笠原道雄『フレーベルとその時代』玉川大学出版部  
岡田渥美編『老いと死 — 人間形成論的考察』玉川大学出版部  
影山礼子『成瀬仁蔵の教育思想 — 成瀬のプラグマティズムと日本女子大学校における教育』風間書房  
加野芳正・矢野智司編『教育のパラドックス/パラドックスの教育』東信堂  
近藤邦夫『教師と子どもの関係づくり』東京大学出版会  
早川操『デューイの探究教育哲学 — 相互成長をめざす人間形成論再考』名古屋大学出版会  
増淵幸男『教育的価値論の研究』玉川大学出版部  
村井実『教育思想』上下、東洋館  
森田尚人ほか編『教育学年報3 教育のなかの政治』世織書房  
山内芳文『ドイツ近代教育概念成立史研究』亜紀書房  
和田修二『教育する勇気』玉川大学出版部  
和田修二『教育的人間学』放送大学教育振興会  
渡邊光雄『クラフキの「二面的開示」に関する研究』勁草書房

- D・エラスムス、中城進訳『エラスムス教育論』二瓶社  
 A・フリットナー、H・ショイアール編、石川道夫訳『教育学的に見ること考えることへの入門』玉川大学出版部  
 A・フリットナー、森田孝監訳『教育改革二〇世紀の衝撃——イエーナ大学連続講義』玉川大学出版部  
 J・P・ミラー、吉田敦彦ほか訳『ホリスティック教育——いのちのつながりを求めて』春秋社

■ 1995

- 小浜逸郎『先生の現象学』世織書房  
 黒崎勲『現代日本の教育と能力主義』岩波書店  
 作田啓一『三次元の間人——生成の思想を語る』行路社  
 杉浦宏編『アメリカ教育哲学の動向』晃洋書房  
 住岡英毅『ブルードンの教育思想』アカデミア出版会  
 関口敏美『柳田國男における「学問」の展開と教育観の形成』風間書房  
 田代尚弘『シュプランガー教育思想の研究』風間書房  
 沼田裕之『教育目的の比較文化的考察』玉川大学出版部  
 村田昇編『シュプランガーと現代の教育』玉川大学出版部  
 森田尚人ほか編『教育学年報4 個性という幻想』世織書房  
 安川哲夫『ジェントルマンと近代教育——〈学校教育〉の誕生』勁草書房  
 矢野智司『子どもという思想』玉川大学出版部  
 山本冬彦編『教育の戦後思想——その批判と継承』農文協  
 W・プレツィンカ、小笠原道雄・坂越正樹監訳『信念・道徳・教育』玉川大学出版部  
 J・デューイ、河村望訳『デューイ＝ミード著作集』全6巻、1997年完、人間の科学社  
 P・H・フェニックス、岡本道雄・市村尚久訳『コモン・グッドへの教育——カリキュラムの道徳哲学』玉川大学出版部  
 C・H・マレ、小川真一訳『冷血の教育学——だれが子供の魂を殺したか』新曜社

(やのさとじ 京都大学大学院教育学研究科)